

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地産地消推進事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	農業振興課			
施策	5-4	多様な方面からの農業の振興		主管課長	安蒜 康志			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内産農作物 市民	意図	できるだけ新鮮な状態で市内で消費される。 流山産農作物の良さを実感してもらう。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と生産者の相互理解が深められるよう、フェイス・トゥ・フェイスの取組みを推進する。 ・「新鮮食味」を始めとする市内農産物直売所をPR（のぼり旗及び地産地消シールの販売、マップの配布）する。 ・市内産の米、野菜、果樹を使った料理方法等（講習会の開催、レシピの紹介）を周知する。 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年11月から市内の中心的農産物直売所として開設された「新鮮食味」を流山市農産物直売所出荷組合が運営し、市内各地の農作物を販売している。 ・料理講習会の開催やレシピ作成にあたって、流山市農家生活研究会や農業女子の協力を得ており、市の広報紙やホームページで情報発信を行っている。 			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		市内に開設されている農産物直売所数	43	43	43	箇所	
	「新鮮食味」における1日平均売上額	84,965	88,506	90,590	円		
	「新鮮食味」における1日平均購入客数	102	108	103	人		
	料理講習会（市主催）への応募者数	55	63	39	人		
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度	太巻き寿司教室及びジャム作り講習会を開催し、地元農産物の消費拡大を図った。参加者は、それぞれ15人、16人だった。 平成29年度は新たに、市内産のたけのこを使ったメンマ作り講習会を開催し、8人の参加があった。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,467,176	2,260,975	2,098,810				
事業費(b)(円)	208,176	201,475	85,210				
うち一般財源	180,676	161,975	58,210				
職員給与費(c)(円)	2,259,000	2,059,500	2,013,600				
人役・職員(人)	0.30	0.30	0.30				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

今年度(H29)の改善計画	地産地消のいろいろな農産物を使った講習会を展開していく。	取組の課題	消費者の市内産農産物への理解 消費者及び生産者の地産地消の推進
今年度(H29)に実施した取組	今年度、初めてメンマ作り講習会を開催し、市内産の農産物の料理方法について紹介した。	今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き地産地消の周知活動をイベント等で行っていく。 ・学校給食における市内産野菜の使用拡大を図る。